

華上の亭

数皿のハムステータス



2024.2.26 Mon - 2025.1.31 Fri
川島織物文化館

紋織卓被「蜀江文」明治後期 綴織卓被織下絵「四季草花蝶」(部分)大正後期～昭和期

場 所 〒601-1192
京都市左京区静海市市原町265

開館時間 10:00-16:30(入館は16時まで)

休館日 土・日・祝日/お盆・年末年始

入館料 無料

事前予約制

川島織物文化館ホームページよりご予約ください。



卓上の華

テーブルクロスと皿敷

今回の特別展は、

川島織物セルコンが明治中期より手掛けた卓被や卓敷、皿敷の史資料やコレクションをご紹介します。文明開化と共に洋風建築と調和する室内装飾織物のアイテムに卓上を飾るテーブルクロスのような卓被や卓敷があります。二代川島甚兵衛は、1886(明治19)年に初めての海外視察を経て、内装様式における必要性を実感しました。帰国後、早々に室内空間のトータルコーディネートを想定し、当社独自の意匠や製作方法を考案し、普及させていきました。卓上を華やかに彩る染織品と様々なデザインの魅力をご堪能頂ければ幸いです。



①



②



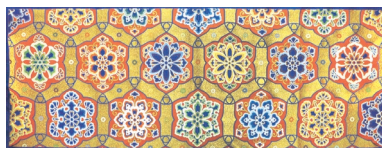
⑥



④



③



⑤

- ① 綴織卓被「瑞鳥宝相華文」原画作者：大高為山 昭和期
- ② 紋織卓被「正倉院花喰鳥」昭和期
- ③ 綴織卓被原画「扇面流水」原画：澤部清五郎 1924(大正13)年頃
- ④ 紋織皿敷(織上り)「大阪商船」明治期
- ⑤ 紋織卓被試織「七宝華紋」1933(昭和8)年
- ⑥ 皿敷(刺繍)3点 明治期

※ 鳥は「正倉院花喰鳥」部分、扇は「扇面流水」部分

同時開催中

川島織物セルコン 創業180周年特別企画
ありがとう
そして未来へ
 ~2024年8月30日(金)

川島織物セルコン 創業180周年特別企画
さあ、幕あけの時
大舞台を彩る緞帳
 ~2024年9月27日(金)

ゆらめく
立涌文様
 ~2024年11月29日(金)

作品は展示替により内容が異なる場合がございます。(展示内容についてはお問合せください)

川島織物文化館

KAWASHIMA TEXTILE MUSEUM

〒601-1192 京都市左京区静海市原町 265
 TEL: 075-741-4120

■ アクセス

- 電車・バス
 - ・京都市営地下鉄「国際会館駅」より 京都バス(50/52系統)「小町寺」下車 徒歩約5分
 - ・叡山電車「市原駅」下車 徒歩約7分
- お車
 - ・京都市営地下鉄「国際会館駅」より 約15分
 - ・京阪電車「出町柳駅」より 約25分
 - ・京都駅より 約40分

見学は事前にご予約が必要です

<https://www.kawashimaselkon.co.jp/bunkakan/>



川島織物文化館HP



川島織物文化館は、1843(天保14)年創業のファブリックメーカー、株式会社川島織物セルコンが運営する、国内最古の企業博物館「川島織物参考館」(1889(明治22)年創設)をルーツとする施設です。

株式会社川島織物セルコン

2024.03